家庭教育の手引き

家庭を学びの「宝石箱」に

～自立と共生をめざして～

御所市教育委員会

保護者の皆様へ

はじめに

～家庭教育は教育の基盤です～

家庭教育は教育の基盤です。子どもの教育は家庭から始まり、家族とのあたたかい関わりによって多くのことを学び、ぬくもりや励まし、支えによって、社会生活を生き抜く基盤を形成していきます。学校は、集団生活を通して社会性を育て、学力を高めるために努力をしますが、家庭との協力によって、その成果を何倍にも高めることができます。

ところが最近、「人との関わり方が苦手」「相手の気持ちを考えない行動」など、子どもたちの様々な課題が指摘され、あらためて家庭教育の重要性が浮き彫りになっています。

今一度、家庭教育を見つめ直し、家庭における基本的な生活習慣の確立としつけを土台に、人と関わることのすばらしさに気づかせ、社会生活を生きていくための規範意識を育てていかなければなりません。

家庭生活には、子どもたちが学ぶべきことがらが山のようにあります。家庭を「学びの宝石箱」にしていただき、子どもたちに、「生きる力」を育てましょう。この冊子は、その一助になれば幸いです。

目次

御所市　家庭教育指針　・・・・・・・・０１
　　家庭教育への７つの提言

家庭学習から「学ぶ力」・・・・・・・・０３
　　子どもの学習習慣は家庭学習から育ちます。

家庭学習のすすめ　・・・・・・・・・・０４
　　学年別家庭学習ワンポイントアドバイス

御所市　　家庭教育指針

家庭教育への７つの提言

子どもが一人の人間としてしっかりと自立し、取り巻く他者や環境とよりよく共生できるよう、大人たちが導いていくのが教育です。

子どもを教育するには、家庭教育・学校教育・社会教育の三つの柱が互いに連携することがとても大切です。なかでも、すべての教育の原点は家庭教育にあると言われています。時として、子どもと厳しく向き合わなければならないこともあります。

そこで、家庭教育で大事にしていただきたい７つのことを提言としてまとめました。

１　規則正しい生活リズムの保持

十分な睡眠とバランスのとれた食事は、人間の命の源です。生活が不規則になると、睡眠不足になったり、偏った食事になったりします。それが、学習面や運動面にも大きく影響します。健やかな身体、穏やかな心を保持するために、十分な睡眠と栄養バランスのとれた規則正しい食事を心がけましょう。

２　自然と挨拶ができるように

挨拶は、人としての基本的な「しつけ」です。一日は、「おはよう」の挨拶から始まります。「おはよう」の言葉一つで、お互いの体調や心理状態がうかがえるものです。

また、挨拶は、人間関係づくりにおいても、重要です。自然と挨拶が交わせるよう、「おはよう」からはじめてみましょう。

３　認めて、ほめて、自主自立

子どもは一人一人に個性があり、独自のよさを持っています。また、親に

手伝ってもらった喜びより、自分でできた喜びの方がはるかに大きいものです。時間がかかっても自分で考え判断し、小さな目標でも達成できたときには、認めてほめることで自信を持たせましょう。

4　役割分担して、責任を

子どもは、体験を通じて自信を持ちます。家庭の中においても、適度な役割を分担させ、責任を持ってやり遂げさせることで、自立心は育ちます。また、自分が役に立っている実感は自尊感情を培うことにも繋がります。さらに、自分のくらしを見つめることを通して、家族であるという帰属意識を高めましょう。

5　「甘やかす」のではなく「甘えさせる」

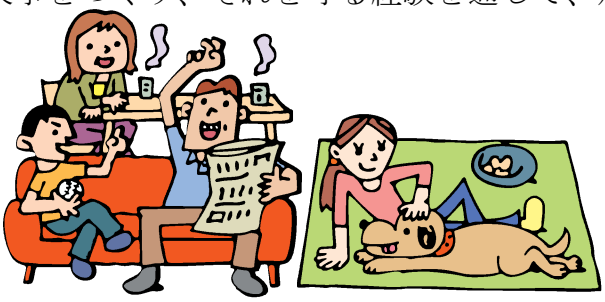
学校生活では、友だち関係など、子どもには子どもの世界があり、少なからず緊張感をもって毎日生活をしています。家は「ホッ。」とできる場所でなくてはなりません。家族には、自分のありのままをさらけ出せる居場所であることが大事です。親から子どもへの最高の贈り物は、「家族愛」で結びついた強い絆です。

6　「だめなことはだめ」－子は親の鏡－

時代が変わっても、人として変わってはいけないもの、大人として譲ってはいけないものがあります。親の日々の言動は、「しつけ」そのものです。「少しぐらいならまあいいか。」は、かえって子どもの規範意識が育ちません。「あかんものは、あかん！」のです。親として規範となる言動を示しましょう。

7　約束は守るためにあるもの

たとえ口約束であっても、お互いが理解して交わした約束は、守らなければなりません。社会のルールでは、約束を守らなければ、ペナルティーが科せられます。家庭ならではの約束事をつくり、それを守る経験を通して、規範意識の向上を図りましょう。



子どもの学習習慣は、

家庭学習から育ちます。

学校は子どもの学力を向上させるために、工夫しながら個々に応じた指導を行っています。それは、家庭との協力体制を図ることで、その効果は、うんと上がります。

毎日、決まった場所と時間で、家庭学習を継続的に進めることで、学習習慣が身につき、集中力も養われます。また、学校の宿題だけでなく、子ども自ら課題を持って学習することで、主体性や自立性を伸ばすことにも繋がります。

さらに、子どもは、家族に認められ励まされることで「がんばろうとする」学習意欲がわき出ます。

学校と家庭が協力し合って、子どもの「学ぶ力」を大きく育てましょう。

どんなことをすればいいの？・・・家庭学習

家庭学習では、宿題だけでなく自主学習もします。

◎宿題・・・必ずしなければならない課題です。主に、その日の授業の復習をすることで、学力の定着をめざします。

◎自主学習・・・自分で課題を決めて、自主的に進めます。

（例）国語・・・漢字　意味調べ　音読　視写など

算数・数学・・計算練習　文章問題など

社会・理科・生活・・・図鑑、地図帳、事典などで調べたことをノートにまとめる

英語・・・音読　単語カード　英作文　会話など

※　次ページから学年別に学習例を示しました。お子様と一緒に考えてください。

家庭学習：「・・・べからず」３ヵ条！！

① 学習中はテレビ・携帯電話は、見るべからず！

② 机の上を乱雑にするべからず！

③ 決めた時間を破るべからず！

小学校１・２年生

学習時間のめやす

２０分～３０分

（１０分×学年＋１０分）

ワンポイントアドバイス

「宿題は最後までやること」を守らせましょう。

最後までやったかを、必ず家族の目で点検しましょう。テレビやゲームも、時間のけじめをきちんと守らせましょう。根負けせず、粘り強く働きかけることが大切です。

国語

- ○　好きな読み物を選んで、大きな声で、丁寧に音読しましょう。（音読）
- ○　「、」や「。」に気をつけて、すらすら読めるようになりましょう。（音読）
- ○　書き順や文字の形に気をつけて、丁寧にゆっくり書きましょう。（ひらがな、カタカナ、漢字）
- ○　楽しかったことや嬉しかったことを自分の言葉で書きましょう。（日記）

算数

- ○　計算は、丁寧に正しくできるようになりましょう。
- ○　まちがった問題は、家でもう一度正しくできるまでやりましょう。
- ○　２年生は、九九が「すらすら」言えるようにしましょう。

ゴセンchan　進化チャレンジ！（発展）

- ○　生き物観察
- ○　教科書の視写
- ○　百科事典や図鑑で調べる
- ○　ドリルなどをする
- ○　鍵盤ハーモニカの練習

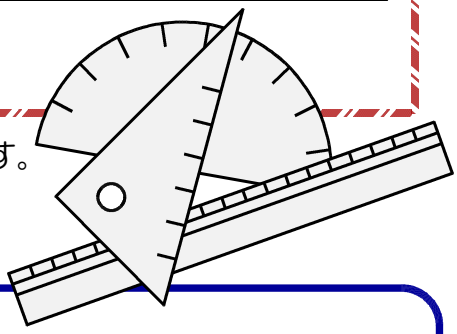
- ○　詩をつくる
- ○　作文を書く
- ○　ものさしを使って図形を描く

小学校３・４年生

学習時間のめやす

４０分～５０分

（１０分×学年＋１０分）



ワンポイントアドバイス

学習範囲が広がり、個人差が出てきます。友だちや兄弟姉妹と比べるのでなく、ほめたり励ましたりして子どもの「やる気」を引き出してあげてください。

好奇心が旺盛になり、自立心が芽生えてきます。自分でできることは自分でさせましょう。

国語

- ○　今勉強しているところを回数を決めて声に出して読みましょう。
  （正しく・気持ちを込めて・聞き手に分かるように音読する）
- ○　新しく習った漢字、覚えていない漢字を繰り返し練習しましょう。
  （正しい筆順で書く）
- ○　国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べ、ノートに書いて覚えましょう。
  （分からないときは、すぐ国語辞典を使う習慣を身につけましょう。）

算数

- ○　教科書やドリルの問題を繰り返ししましょう。間違えたら「どうして間違えたか。」を考えて、間違えなくなるまでやり直しましょう。
- ○　筆算は、位をそろえて、丁寧に、手順を確かめながらやりましょう。
- ○　文章問題も数多くこなしましょう.（図や絵をかくと分かりやすい。）

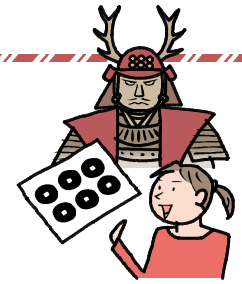
ゴセンchan　進化チャレンジ！（発展）

- ○　社会科で勉強する地域の文化や産業について地図帳や百科事典で調べたり、理科で学習する生き物（草花・昆虫）について図鑑やインターネットなどで調べたりしましょう。さらに、疑問に思ったことを調べ、分かったことをノートにまとめましょう。

小学校５・６年生

学習時間のめやす

１時間～１時間
１０分
（１０分×学年＋１０分）



ワンポイントアドバイス

将来の夢や希望、「なぜ、勉強するのか」など、子どもの考えを中心に家庭で話し合ってみてください。学校での様子も話題にして、子ども自身に「自分のこれから」を見つめ考えさせてください。

目標を達成することも大事ですが、目標に向かって努力を重ねることが大切です。

国語

- ○ 習った漢字の構成や字形を意識して、丁寧に練習しましょう。漢字を使って熟語や短文をつくりましょう。
- ○ ニュースや新聞記事を読んで、自分の感想や意見を、字数を設定してまとめてみましょう。
- ○ 詩や短歌などを暗唱したり、自分でつくったりしましょう。
- ○ 分からない語句は、すぐ国語辞典で調べ、ノートにまとめましょう。
- ○ 色んなジャンルの本を読んでみましょう。（読書を習慣化しましょう。）

算数

- ○ グラフや表から読み取れることをまとめてみましょう。
- ○ よく間違える計算は、何回も繰り返し練習しましょう。
- ○ 文章問題は、図や絵を描いて理解しながら、解きましょう。

ゴセンchan　進化チャレンジ！（発展）

- ○ 家庭科で学習したことを家庭生活の中で実践しましょう。
- ○ 授業で実験したことを、もう一度自分でまとめましょう。結果に関する意見や考えをまとめて書きましょう。（理科）
- ○ テーマを決めて、調べ学習をしましょう。

中学校１・２年生

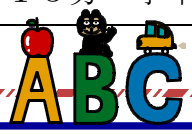
ワンポイントアドバイス

学習内容が、質、量ともに増えます。
最初は宿題から、やがて自分自身で勉強方法や内容を工夫して、何をするか自分で考え、決められるようになることが大事です。
計画を立てて学習を進めましょう。

学習時間のめやす

１時間４５分～
２時間

（９０分＋１５分×学年）



国語

- ○ 意味の分からない語句は、必ず国語辞典で調べましょう。
- ○ 小説や物語を読んで、自分の生き方を考えましょう。
- ○ 漢字は何回も書いて確実に覚えましょう。
- ○ ニュースや新聞記事から、自分の考えをまとめましょう。

数学

- ○ その日の授業で取り組んだ計算問題を、もう一度やり直しましょう。
- ○ 教科書に載っている文章題とよく似た問題を問題集などを使って解いてみましょう。
- ○ 正解しなかった問題は、印をつけて、最低２回はやり直しましょう。
- ○ 表やグラフから読み取れることをまとめてノートに書きましょう。

社会・理科

- ○ テレビや新聞などで話題になっていることに関心を持ち、自分の意見をまとめましょう。
- ○ 授業で学習したことを、自分なりにもう一度ノートにまとめましょう。
- ○ 日常の出来事で疑問に思うことを科学的に考え、インターネットや百科事典で調べ、まとめましょう。

英語

- ○ その日に学習した単語や例文を繰り返しノートに書きましょう。
- ○ 教科書の本文をノートに写しましょう。
- ○ 本文をすらすら読めるまで何度も音読しましょう。
- ○ 辞書を引いて、新出単語の意味や発音記号、品詞、新しく出てきた語句の意味や使い方を調べましょう。

ゴセンchan　進化チャレンジ！

- ○ 家族との会話を英語だけを使ってやりとりしてみましょう。英単語が分からないときは辞書で調べましょう。

中学校３年生

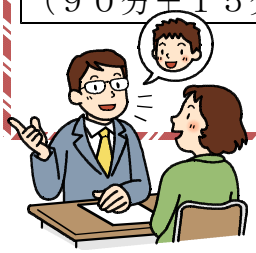
ワンポイントアドバイス

　進路について、正しい情報を基に、家庭でもよく話し合いましょう。学習の計画が思うように進まないこともあります。先ず、基礎・基本を確実に身につける総復習を心がけましょう。

学習時間のめやす

２時間１５分

（９０分＋１５分×学年）



教科の学習

○　国語の漢字、語句、英語の単語や文型などを繰り返し覚えましょう。
○　数学では、四則計算を繰り返し間違えないように練習しましょう。
○　社会や理科では、重要なことがらをノートに書いて覚えましょう。
○　テーマを決めて、自分の考えをまとめて文章に書く練習をしましょう。
○　得意な教科は、問題集などで数多く取り組み、自信をつけましょう。
○　苦手な教科は、分かるところまで戻って、やり直しましょう。

スケジュール管理

○　定期テストは、カレンダーなどに、いつ何があるかを書き込みましょう。
○　テスト日から逆算して、学習計画をカレンダーなどに書き込みましょう。
○　学習の進度に合わせて、計画を変更し、無理のない修正をしましょう。

体調管理

○　朝食は、脳を働かせる大切なエネルギー源です。しっかり食べましょう。
○　睡眠不足は、脳の働きを鈍らせます。生活リズムを整えましょう。
○　暑さや寒さに負けず、体調を維持するために適度な運動を取り入れましょう。

ゴセンchan　進化チャレンジ！

○　読書を通して心を育てましょう。物語や伝記は、自分の考え方を確かめるものさしになります。読後の感想も書いておきましょう。